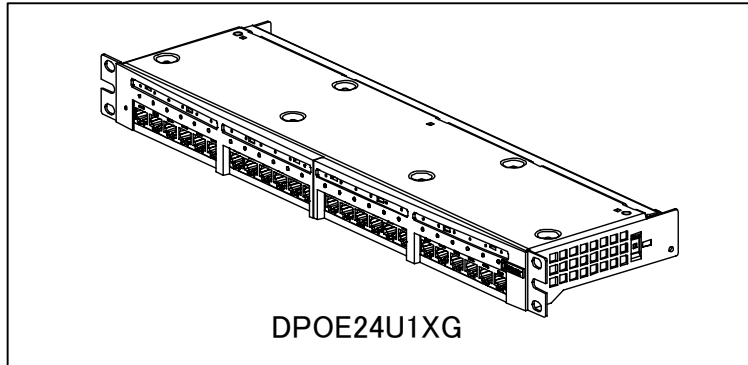


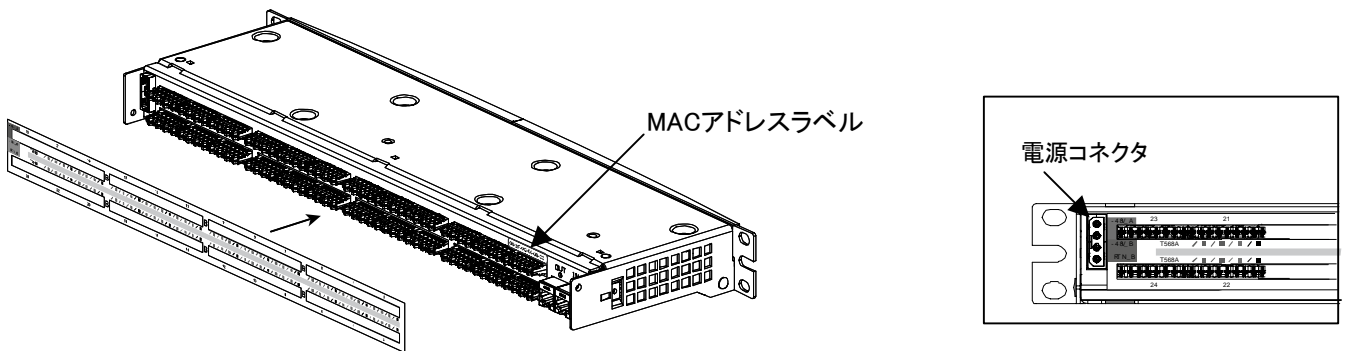
### DPoE™ PoEパッチパネル

製品番号: DPOE24U1XG

©Panduit Corporation Japan Branch



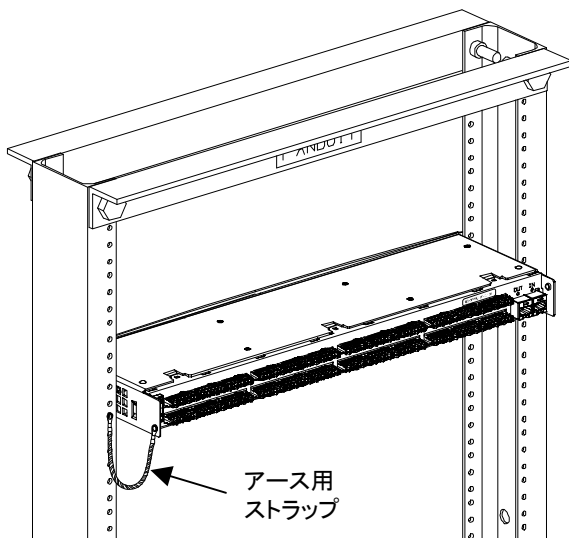
1.



同梱の取り付けワークシートに、装置の背面にあるステッカーに印刷されているMACアドレスを記録します。配線テンプレートラベルを、パッチパネル背面のコネクタ列の上にはめます。配線が上下逆にならないように注意しながら、適切な配線色のコードを上向きに接続します。

※同時に、今後の管理上、パネル上面に記載のQC、SN番号を記録していただくことをおすすめします。

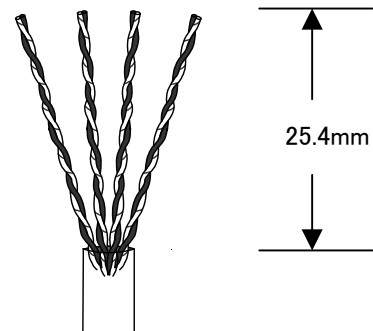
2.



付属のメートルネジと、緑&橙色のストライプのアース用ストラップをパネルに取り付けます。

次に接地済みのラックに対してパッチパネルを取り付ける際、ラックとパネルが確実に接地されているかを確認してください。パネルと同じラック位置にアース用ストラップを接続してください。

3.



導線を損傷しないように注意しながら、ケーブルジャケットを1インチ(25.4mm)程度剥きます。撚り線4本を配線手順に従ってすべて広げてください。(色別ワイヤーの位置の規格については次頁を参照)

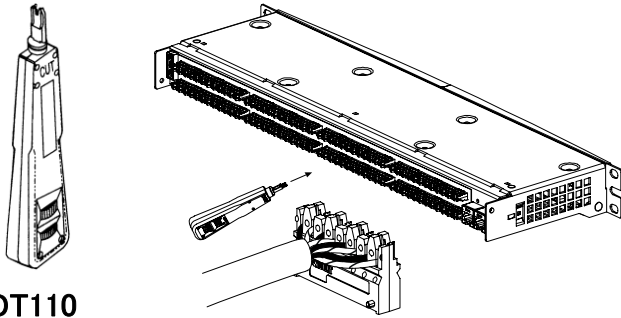
版	制定	作成	承認
F	2010年9月7日	久保	岩崎

### DPoE™ PoEパッチパネル

製品番号: DPOE24U1XG

©Panduit Corporation Japan Branch

4.



PDI110

802.3af-2003準拠 装置の色別ワイヤーの位置

ピン配列	EIA/TIA 568A	ピン配列	EIA/TIA 568B
5	白/青	5	白/青
4	青	4	青
1	白/緑	1	白/オレンジ
2	緑	2	オレンジ
3	白/オレンジ	3	白/緑
6	オレンジ	6	緑
7	白/茶	7	白/茶
8	茶	8	茶

5 4 1 2 3 6 7 8

ピン番号



配線の手順を正しく守って、指定されたポートのパンチダウンスロットに導線を差し込みます。Cisco Inline Power受電装置を使用する場合、水平ケーブルの両端にはEIA/TIA 568Aあるいは568Bの配線手順の採用が必要となります。また性能を保つため、導線のより戻しは、末端から1/2インチ(12.7mm)以内にしてください。コネクタにケーブルを配線し、パンチダウン工具(型番:PDI110)を用いて導線をパンチダウンします。DPoE™取付用ワークシートにポートの情報を記録します。

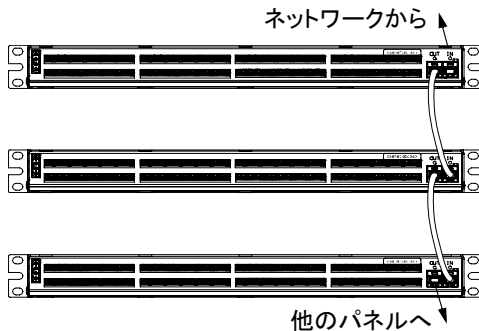
**注意事項:**

- ・受電装置へ配線する際は、他のケーブルや電源の誘導結合から保護してください。
- ・受電装置は適切に取り付けおよび接地をし、全ての配線および接続を外部電圧から隔離してください。
- ・本製品を設置する際は、静電気敏感性デバイスの取扱注意事項を厳守してください。製品の背面に110パンチダウン端末を接続する際はリストストラップなどで接地を確保してください。製品に電力が供給されている時は110パンチダウン端末を接続しないでください。

※DPoE™パッチパネルに配線・接続をする際はTIA-942規格およびIEEE 802.3規格に従って成端してください。

### 5.(オプション)

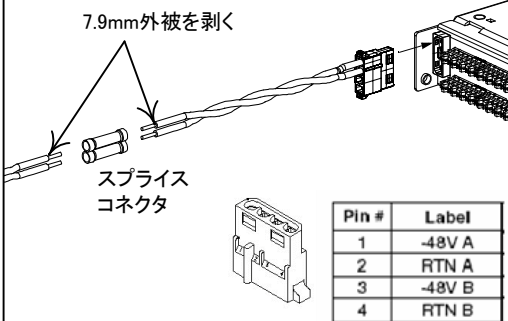
リモート管理インターフェースを使用する場合にはエレメントマネージャソフトウェアのインストールが必要です。ソフトウェアは製品に同梱されています。インストール後、標準パッチコードを使用して、イーサネットスイッチ経由または直接エレメントマネージャがインストールされたコンピュータと、パネルの背面のIN管理ポートを接続してください。この場合ネットワークにはDHCPサーバが必要です。ネットワークで複数のパネルを使用する場合は、1つのパネルのOUT管理ポートをパネルの隣にあるIN管理ポートにデジチェーン方式で接続します。



**注意:**

1. DPoE™パッチパネルはアナログあるいは非イーサネットデバイスには使用できません。
2. DPoE™パッチパネルは、PVCまたはブレナムのほとんどの22-24AWG単線またはIWC撚り線ワイヤー(最大外径1.27mm)で終端処理できます。
3. NETRACKラックシステムや他社のラックを適切に接地するために、データセンターラック接地工事用のPANDUITグラウンディングキットを使用できます。
4. 指定のワイヤーゲージを超える規格で使用していたスロットには配線を行わないでください。
5. 絶縁されていない通信配線または端子盤に触れる場合には、必ずネットワークインターフェース上で通信を切断してください。
6. DPoE™パッチパネルまたは通信配線の設置を行う前に、接続されている電気回路の危険性を予め把握しておいてください。
7. 付属のスプライス(型番:BSV14X)は14-16AWG単線または撚り線ワイヤーに対応しています。圧着には工具(型番:CT-110、CT-1550、CT2662)を使用してください。
8. DPoE™パッチパネルは、無限にパネル同士を接続できます。

6.



Pin #	Label
1	-48V A
2	RTN A
3	-48V B
4	RTN B

パワーサプライ(DPOEPWRB120Y-J)を使用する場合、まず添付の電源コネクタをパネルに接続し、次にAC電源をパワーサプライに接続します。ラック搭載用のDPoE™パワーシステム(DPOEPWRCU)を使用する場合、まずシャーシからヒューズを外し、パネルに電源を供給している2本のワイヤーへの電源を切断します。パワーサプライにはDC電源付きの出力用コード(3m)が添付されています。長さが足りない場合はスプライスコネクタを使用して、極性に注意しながら電源供給ワイヤーに圧着します。次に、電源コネクタをパネル背面に接続し、パワーシステムの適切なポートへワイヤーを圧着します。最後に、パワーシステムへヒューズを取り付けます。

**警告:**配線およびパネルを保護するため、電源内ではヒューズ(最大7.5Amp)の使用が必要です。PANDUIT社製以外の電源装置を使用する場合以下の注意が必要です。

- ・過電流保護(最大7.5Amp)を確保してください。
- ・条例・規制・規格等に基づき、適切な絶縁電源(SELV)が必要です。
- ・条例・規制・規格等で承認された情報通信機器と接続を行ってください。
- ・DPoE™パネルには49.5Vdc電源を供給してください(許容値:44Vdc~57Vdc)
- ・DPoE™パネル及び関連機器に十分供給可能な出力電流を確保してください。(49.5V入力DPoE™パネルの最大電流は500Wまでです)

**注意:**DPOEPWRB120Y-Jに同梱のパワーサプライおよび電源コードは、本機専用です。また、DPOEPWRCU、DPOEPWRR500、DPOEPWRR1250パワーシステムおよびCORD-J15、CORD-S電源コードは、本機専用です。他の機器には使用しないでください。

\*CORD-Sは、DPOEPWRB120Y、DPOEPWRCU、DPOEPWRR500専用です。

EMC警告:本製品は住宅環境での使用には適していません。住宅環境で使用すると電磁波妨害が生じる原因となります。

版	制定	作成	承認
F	2010年9月7日	久保	岩崎